

令和 8 年 5 月 21 日
道路局環境安全・防災課

日本風景街道 20 周年に向けて議論を開始します ～第 1 回「未来ビジョン共創会議」を開催～

日本風景街道は、地域住民、企業、NPO 等の多様な主体が連携し、地域の自然や歴史、文化などの魅力を磨き上げ、交流促進や地域活性化に寄与してきました。一方で、人口減少・高齢化の進行、観光需要の変化、大規模災害の頻発などにより、地域を取り巻く課題は複雑化しています。

このたび、2027 年に創設 20 周年を迎える日本風景街道について、今後の価値向上や持続的発展に向けた施策の方向性を検討するため、「日本風景街道 未来ビジョン共創会議」を設置し、第 1 回会議を開催します。

- | | | | |
|---|-----|------------------------------|---------------------------------|
| 1 | 日 時 | 令和 8 年 5 月 25 日（月） | 15:00～17:00 |
| 2 | 場 所 | 中央合同庁舎 3号館 1階 | 道路局 A 会議室
(東京都千代田区霞が関 2-1-3) |
| 3 | 委 員 | 別紙のとおり | |
| 4 | 議 事 | 日本風景街道の現状と課題
今後の取組の方向性 ほか | |

○本会議は、報道関係者に限り傍聴可能です。カメラ撮りは冒頭（議事に入るまで）のみ可能とします。傍聴を希望される場合は 5 月 22 日（金）17 時まで必要事項を記載のうえ、下記送付先まで登録をお願いします。当日は会議開始 10 分前までに会議室にお集まり下さい。

【件 名】第 1 回 日本風景街道 未来ビジョン共創会議

【必要事項】氏名、所属、連絡先（電話番号、メールアドレス）

【送 付 先】hgt-fukeikaido-mirai@gxb.mlit.go.jp

※取得した個人情報適切に管理し、必要な用途以外に利用しません。

○会議資料については、後日、国土交通省ホームページに公開します。

<問合せ先>

道路局 環境安全・防災課 課長補佐 高城（たかぎ）、係長 大船

代表：03-5253-8111（内線 38222）、直通：03-5253-8495

日本風景街道 未来ビジョン共創会議 名簿

(敬称略、五十音順)

石田 東生 筑波大学名誉教授

川上 真生子 株式会社 キッチハイク取締役

真田 純子 東京科学大学大学院 環境・社会理工学院 教授

羽鳥 剛史 愛媛大学社会共創学部 環境デザイン学科 教授

原 文宏 (一社) シーニックバイウェイ支援センター理事
・事務局長

三谷 繭子 株式会社 Groove Designs 代表取締役社長

日本風景街道 未来ビジョン共創会議 設立趣旨

日本風景街道は、地域住民、企業、NPO 等の多様な主体が自主的に連携し、道路を軸として地域の自然、歴史、文化、産業等の魅力を磨き上げ、交流の促進や地域活性化に寄与してきた取組である。その根幹は、各地域の創意工夫と主体性にあり、これまで全国各地において特色ある活動が積み重ねられてきた。

一方で、近年の社会環境の変化、人口減少・高齢化の進行、観光需要の質的变化、さらには大規模災害の頻発等を背景に、地域を取り巻く課題は一層複雑化している。とりわけ、能登半島絶景海道における震災後の復興の取組においても見られるように、風景街道は復興を支える重要な役割を果たしている。このように、風景街道には、景観形成や観光振興にとどまらず、災害復興、環境保全、二地域居住の推進、地域産業の創出など、防災、地域経済、環境といった幅広い政策課題に貢献する役割が期待されている。

このような状況を踏まえ、今後の日本風景街道は、地域主体の自主性を尊重しつつ、国及び地方公共団体等がより明確に支援・伴走する体制を強化し、「もっと繋がる風景街道」へと発展させていくことが求められる。

本会議は、こうした認識の下、有識者や関係機関等の多様な知見を踏まえ、風景街道の価値向上と持続的発展に向けた方策について検討を行い、2027年に20周年を迎える日本風景街道について、今後の10年間を見据えた施策展開につなげることを目的として設置する。